

編 集 後 記

土佐リハビリテーションジャーナル 第 1 号が完成しました。編集に関わった者としては、想像以上の編集作業の煩雑さに挫けそうになりながらの道のりであったため、ようやく・・・という思いがします。

さて、本誌は土佐リハビリテーションカレッジ理学療法学科・作業療法学科の教育・研究活動に関する外部への情報発信を行なうこと、論文発表の機会を提供することを目的として発刊されたものです。第 1 号として原著 5 報、短報 1 報、報告 1 報の計 7 報の論文と、学科別の教育・研究業績を掲載しています。論文内容をみると、研究・教育・臨床での治療訓練効果と幅広い分野についてまとめられており、今後もひとつの分野に偏ることのないよう編集していきたいと考えています。梅澤俊一名誉校長は巻頭言の中で「蒔かぬ種は生えぬ。そして芽が出たら育てなければならない。」と書かれていますが、土佐リハビリテーションジャーナルも今、芽を出したところであり大樹に育つよう編集委員一同頑張りたいと思っています。しかしここでいう大樹とは編集の成果を指すのではなく「質の高い論文」の集まりであることは明白です。ですから本誌の主要著者である土佐リハビリテーションカレッジの講師一同が自己研鑽を積むことが不可欠だと考えます。私も専任講師の一人として、リハビリテーション関連領域の学問的な発展に寄与できるよう今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。

土 佐 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン ジャ ー ナ ル 編 集 委 員 会

編集顧問

瀬戸勝男

編集委員

淡野義長（作業療法学科）

井上佳和（理学療法学科）

岡部孝生（理学療法学科）

白井里佳（作業療法学科）